

日向峠と飯盛山 ～年末も尾根をさまよう～

【報告者】T橋

【日時】2017年12月29日

【天候】くもり

【参加者】T橋

《コースタイム》

飯盛神社 720－飯盛山 750－ルート探索－日向みち分岐 935－日向峠 1000－本線復帰 1050
－飯盛山－飯盛神社 1140

《報告》

年末のクリスマス山行で、E本くんが安室奈美恵のMVを激推ししていたからだろうか。ルートをつなげるために尾根を探索していた。ヤブをかき分け、薄い踏み跡をたどり、見失ってまたさまよう。なんか既視感。あれ、これって。

『探して見つけて失ってまた探して』

まさかの、ヤブ漕ぎの極意は「CAN YOU CELEBRATE?」だったのか!?

アムロちゃんはヤブ好きだったのか!?

(追記: 作詞はTK小室氏でした get wild!)

山中でいろんな歌がうかぶことはよく聞く話で、『歩こう歩こう わたしは元気』などは定番か。マラソンでもよく口ずさむのは『負けななくても少し最後まで走り抜けて』。自分の場合は『そしてぼくは途方に暮れる』とかあるな。

と下らない話で文字数を稼ぐが、A4は大きいな! 全然埋まらないぞお!

飯盛山や叶岳、高祖山をひとかたまりとする山塊と、東西に見渡すかぎり続く脊振山系。その間を深く切り分けるようにうねる峠道の県道49号線。その鞍部が日向峠。ここを通せば、JRを起点にする長いルートを引くことができそうだ。

今回の尾根探索もそのひとつ。遊歩道のようによく歩かれた道から、地形をみつつヒョイと横にそれる。少しうるさい灌木をかき分けるとそこははっきりとした尾根で、今度はその尾根筋を丹念にひろいながら目指す方向へ進んでいく。

時間をかけてたどった尾根は、結局濃いヤブに阻まれて行き詰まる。いったん戻り大回りして日向峠に向かい、下から登り返しながらルートを確認する。一転して歩きやすい尾根を進み順調に標高をあげたころ、目の前の土壁を乗り越えると不意に見覚えのある地点に出た。まだ迷い始める前に何げなく通過していたところだった。「ここかよ…」。

地図と実際の地形のスケールをすり合わせることはまだまだ難しく、今回も結局勘違いした尾根を右往左往していた。あらためて家で迷走するログを見返すと、そのときの自分の苦闘ぶりが思い出されて笑ってしまう。誰も通らない、そもそも道ですらない山の真ただ中で、本気で遊んでいた時間。

『遠かった怖かったでも時に素晴らしい～』と続く歌詞がやけにしっくりくる 2017年最

後の登山でした。